

事業報告

当財団は、定款の定めるところに従い、廃棄物を適正に処理し、資源循環型社会の形成に資する事業を推進するとともに、広く公共の福祉の見地から公衆衛生の向上を図ることにより、住民の健康で文化的な生活環境の確保に寄与することを目的に次の事業を行った。

I 公益目的事業

1 ごみ収集及び運搬業務 【環境局】

(1) 家庭系ごみ

福岡市から委託を受け、家庭から排出されるごみ（可燃性ごみ、不燃性ごみ、粗大ごみ、空きびん・ペットボトル）の収集運搬を行った。

【収集地区】		(平成31年3月末現在)
区分	収集地区	世帯数(件)
東区	香椎照葉	3,319
中央区	地行浜	61
早良区	百道浜	3,452
西区	愛宕浜	3,588
計		10,420

【家庭系ごみ収集運搬状況】

区分	収集量(t)	運搬台数(台)
可燃ごみ	4,440	2,140
不燃ごみ	276	195
空きびん・ペットボトル	184	150
粗大ごみ	109	256
計	5,009	2,741

(2) 事業系ごみ

福岡市から許可を受け、事業所から排出されるごみ（可燃性ごみ、不燃性ごみ）の収集運搬及びごみ処理料金の収納を行った。また、古紙については分別回収を実施した。

【収集地区】		(平成31年3月末現在)
区分	収集地区	契約件数(件)
東区	香椎照葉, 香椎浜外	128
中央区	舞鶴, 地行浜外	1,785
南区	井尻, 大橋, 弥永外	1,065
早良区	百道浜	83
西区	愛宕浜, 小戸	56
市有施設	東区, 中央区, 南区	32
計		3,149

【事業系ごみ収集状況】

区分	収集量(t)	運搬台数(台)
事業系ごみ	14,408	8,181

【事業系ごみ処理料金集金状況】

(平成31年3月末現在)

区分	売上金		集金額		未収金		集金率	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数	金額
過年度	2,099	56,311,293	2,083	56,198,573	16	112,720	99.2%	99.7%
現年度	22,657	563,606,700	19,701	501,700,922	2,956	61,905,778	86.9%	89.0%
合計	24,756	619,917,993	21,784	557,899,495	2,972	62,018,498	87.9%	89.9%

※売上金に併用世帯の補助金は含まない。

【古紙の分別回収：収集状況】

区分	収集量(t)	運搬台数(台)
古紙	333	474

2 福岡市家庭系ごみ処理手数料徴収事務 【環境局】

福岡市から委託を受け、指定袋(家庭用ごみ袋)の調達、保管及び指定袋取扱店(小売店)への配送を行うとともに、ごみ処理手数料の調定、収納を行った。

【調達及び調定枚数】

区分	調達枚数(枚)	調定枚数(枚)
可燃物用	80,700,000	77,453,750
不燃物用	6,600,000	6,067,670
空きびん・ペットボトル用	5,500,000	5,230,830
計	92,800,000	88,752,250

【家庭系ごみ処理手数料徴収状況】

(平成31年3月末現在)

区分	調定		収納		未収	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
過年度	2	61,350	0	0	2	61,350
現年度	1,811	3,187,599,730	1,699	3,034,895,130	112	152,704,600
合計	1,813	3,187,661,080	1,699	3,034,895,130	114	152,765,950

※過年度未収については、1社2件が倒産により回収不能。平成30年度不納欠損処理予定。

3 福岡市粗大ごみ受付センター業務等 【環境局】

福岡市から委託を受け、家庭から排出される粗大ごみの収集受付を電話、ファックス、インターネットにより行うとともに、ごみ処理全般に関する市民からの相談・要望等への対応を行った。

【受付状況】

(単位：件)

受付		202,401
(内訳)	電話・FAX (割合)	141,615 70.0%
	インターネット(LINE含む) (割合)	60,786 30.0%
追加・変更、取消し等		27,512
相談等		50,577
合計		280,490

4 福岡市粗大ごみ処理手数料収納事務 【環境局】

福岡市から委託を受け、粗大ごみ処理券（300円券、500円券、1,000円券）を市指定の取扱店（コンビニ、個人商店等）に納品するとともに、粗大ごみ処理手数料の収納を行った。

【粗大ごみ処理手数料収納状況】

区分	収納枚数(枚)	収納金額(円)
300円券	251,479	75,443,700
500円券	96,124	48,062,000
1,000円券	40,778	40,778,000
合計	388,381	164,283,700

5 福岡市し尿収集及び運搬業務 【環境局】

福岡市から委託を受け、家庭や事業所のし尿収集（定期収集）及び工事現場やイベント会場（福岡マラソン、博多どんたく等）の仮設トイレのし尿収集（臨時収集）を行った。

【定期収集世帯数】

(平成30年4月現在)

区	世帯数(件)	区	世帯数(件)
東区	277	城南区	88
博多区	99	早良区	437
中央区	11	西区	482
南区	144		
合計			1,538

【し尿収集状況】

区分	件数(件)	収集量(kl)
定期収集	24,475	6,002
臨時収集	13,715	2,979
合計	38,190	8,981

6 福岡市し尿処理手数料徴収事務 【環境局】

福岡市から委託を受け、し尿処理手数料の調定、収納を行った。

【し尿処理手数料徴収】

(平成31年3月末現在)

区分	調定		収納		未収		収納率	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数	金額
過年度	1,263	3,173,754	172	484,670	1,091	2,689,084	13.6%	15.3%
現年度	22,361	56,022,975	21,855	54,701,496	506	1,321,479	97.7%	97.6%
合計	23,624	59,196,729	22,027	55,186,166	1,597	4,010,563	93.2%	93.2%

7 福岡市葬祭場管理運営業務 【保健福祉局】

指定管理者として、里山や運動広場等の緑豊かな環境に囲まれ市民に安らぎとゆとりを与える「刻の森・福岡市葬祭場」において、厳粛な場に相応しい接遇サービスの向上に努め、火葬予約受付、火葬料等の徴収、会葬者案内、火葬施設及び運動広場（ソフトボール場・芝生広場等）の維持管理を行った。

【火葬件数等】

区分		件数(件)
火葬	人体	10,612件(大人10,570件, 小人42件)
	死産児	495件
改葬火葬		21件
待合室の利用		7,127件(利用率67%)

8 排水設備完了検査業務 【道路下水道局外】

福岡市及び糟屋郡5町(宇美町, 篠栗町, 須恵町, 久山町, 粕屋町)から委託を受け、排水設備(家庭等から出る汚水及び雨水を公共下水道に排水するための設備)の新設等に係る完了工事の検査を行った。

【検査件数】

区分	福岡市	宇美町	篠栗町	須恵町	久山町	粕屋町	合計
検査件数(件)	4,086	203	120	337	97	201	5,044

9 福岡市西部3Rステーション管理運営業務 【環境局】

指定管理者として、福岡市西部3Rステーションの管理運営を行った。事業としては、3R(リデュース・リユース・リサイクル)に関する啓発を目的に情報発信、講座・イベントの開催、不用品の引取・提供等、循環型社会の形成に資する事業を企画、実施するとともに、地域や環境活動団体との連携・共働により地域の環境啓発活動を支援し、地域で活動するリーダーやボランティア等の人材育成を行った。

【運営状況】

事業利用者数 76,103人										
施設内事業利用者 67,084人					施設外事業利用者 9,019人					
一般利用者	体験, 実践, 学習, 人材育成講座等		イベント (エコフェスタ他)		出前講座等 (小学校等環境学習を含む)		主催イベント (西区環境フェスタ)		地域イベント等	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
59,220	838	3,968	8	3,896	56	2,144	1	5,526	7	1,349

10 緑のリサイクルセンター運転等業務 【環境局】

福岡市から委託を受け、せん定樹木を破砕・チップ化し、発酵処理により土壌改良材とする再資源化業務を行った。

【運転状況】

	受入量 (t)	処理量 (t)
せん定樹木	717	745

11 自主事業

(1) 廃棄物埋立管理技術普及啓発事業

準好気性埋立構造（福岡方式）による廃棄物埋立管理技術について、開発途上国から研修員を受入れ、実技研修等を行った。

- ① 研修期間 平成 30 年 9 月 26 日～10 月 27 日
- ② 研修対象 ドミニカ共和国，エチオピア，ケニア，ミクロネシア，
ミャンマー，ナウル，パプアニューギニア，スリランカ
計 8 か国，8 名

(2) 環境学習事業等

環境啓発活動における環境学習事業等の充実を図るための取り組みとして、小学生をはじめ広く市民を対象に福岡市のごみの現状や環境問題について体験型の講習やイベントを試行的に行い、ごみ減量や環境問題に関する意識の醸成・環境配慮行動の促進のための啓発を行った。

- ① 小学校等環境学習事業（留守家庭子ども会出前講座）
回 数：26 回（主に小学校の夏休み期間）
対 象：「留守家庭子ども会」の児童
参加人数：2,642 人
- ② 小学生リサイクル学習事業
小学生等を対象に、福岡市のごみの現状や環境問題についての講習を行うとともに、段ボール箱を利用した生ごみ堆肥作りからその利用までの実践活動を通して、ごみ減量や環境問題に関する啓発を行った。
(生ごみ堆肥化セットの配布 実施校数 8 校，75 セット)
※実施校数には小学校以外（保育所等）での実施分 2 か所を含む。
- ③ 親子ごみ収集ミッドナイトツアー（夜間ごみ収集運搬業務の見学等）
回 数：3 回（小学校の夏休み期間）
対 象：小学校 4 年生から 6 年生とその保護者
参加人数：50 人（25 組）

(3) 環境フェスティバル及びラブアース・クリーンアップ等

福岡市等が実施する環境啓発イベントに参画し、環境分野における市民啓発活動を行った。

- ① 環境フェスティバルふくおか 2018（平成 30 年 10 月 20 日・21 日実施）
- ② ラブアース・クリーンアップ 2018（平成 30 年 6 月 10 日実施）

- ③ おやこフェスタ 2018 (平成 30 年 10 月 13 日実施)
- ④ 第 6 回いとにぎわい祭り (平成 30 年 9 月 24 日実施)
- ⑤ 西区環境フェスタ 2019 (平成 31 年 3 月 10 日実施)

(4) 環境に関する調査・研究等

循環型社会の形成に資する新たな業務等の事業化に向け、職員からアイデアを募り、新規事業として「マンション等集合住宅の後期高齢者宅の個別収集」に関する調査を行った。

(5) その他の取り組み

① 災害廃棄物収集支援活動

ア 平成 30 年 7 月 「平成 30 年 7 月豪雨 (西日本豪雨)」に伴う災害支援

福岡県久留米市に対して、7 月 13 日から 7 月 19 日までの 7 日間、福岡市とともに久留米市内の仮置き場内に出されている災害廃棄物の収集運搬業務を行った。

イ 平成 30 年 8 月 「平成 30 年 7 月豪雨 (西日本豪雨)」に伴う災害支援

広島県東広島市に対して、8 月 20 日から 8 月 31 日までの 12 日間、福岡市とともに東広島市内の仮置き場内に出されている災害廃棄物の収集運搬業務を行った。

② JICA 草の根協力事業

平成 29 年度にケニア国キアンブ県へパッカー車を寄贈したことに伴い、当財団職員を技術指導員としてケニア国へ派遣し、NPO 法人廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡とともに、ごみ収集・運搬システム導入技術指導を実施し、国際貢献及び職員の人材育成を行った。

③ 「一人一花」運動の推進及び協賛

福岡市が推進する「一人一花」運動の取り組みの一環として、財団の各事業所に、花壇や各フロアの窓口等への花鉢の設置を行うとともに、歩道や中央分離帯などに花を植え、街を彩るスポンサー花壇に協賛した。

II 収益事業

1 土地貸付等事業

(1) 土地貸付事業

旧西営業所用地について、事業用定期借地権の設定による土地貸付を行い、公益目的事業の推進に資するための安定的な財源の確保を図った。

(2) 雑収入

団体保険料事務費及び自動販売機販売手数料等の収入

III 事業成果について

平成 30 年度の事業運営にあたっては、福岡市から受託しているし尿及びごみの収集運搬業務のほか、諸受託業務について、市民サービスの向上に努め、社会ニーズに沿った事業を展開し、市民の生活環境の保全に寄与した。

ごみ収集事業において、世帯数の増加や契約事業所の増加に伴い業務量も増加する中で、福岡市の重要施策の 1 つでもある廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用の推進に資するため、家庭系ごみにおいては、小学生等を対象とした不要なものを利用し、リユース意識を高める出前型の環境学習や夜間ごみ収集見学など「環境学習事業」を充実させるとともに、様々な環境啓発イベントを通して、将来を担う子供たちがこれからの環境問題に取り組み、次世代に引き継がれるよう、ごみ減量やリサイクルについて学び考える機会を提供するほか、事業系ごみにおいては、排出事業者に対して営業活動を行い、古紙分別の協力を促すなど、古紙回収に積極的に取り組み、ごみ減量等に対する意識向上を図った。

また、指定管理者として、廃棄物の減量及び資源の有効利用に関する情報及び体験の場を市民に提供すること等の設置目的である福岡市西部 3 R ステーションや火葬を公衆衛生その他公共の福祉の見地から支障なく行なうための設置目的である福岡市葬祭場の管理運営を適切に行った。

当財団の自主事業である環境啓発事業では、福岡市及び福岡大学と連携して、JICA 課題別研修事業の国内研修を行い、開発途上国 8 か国より 8 名の研修生を受け入れ、準好気性埋立技術（福岡方式）による最終処分場の改善方法や維持管理方法について学ぶ機会を提供したことに加えて、国際協力事業の一環として、平成 29 年度にケニア国キアンブ県へパッカー車を寄贈したことに伴い、当財団職員を技術指導員としてケニア国へ派遣し、ごみ収集・運搬システム導入技術指導を実施し、国際貢献及び職員の人材育成を行った。

突発的な事案として、平成 30 年 7 月豪雨により被災した福岡県久留米市及び広島県東広島市に対して、福岡市とともに職員や車両を派遣し、仮置き場内に搬出された災害廃棄物の収集運搬業務を行うなど、災害支援に貢献した。

IV 理事会開催状況

平成 30 年度理事会の開催状況等は次のとおりである。

第 1 回 理事会（平成 30 年 5 月 29 日）

議案第 1 号「平成 29 年度事業報告及び決算」の件

議案第 2 号「公益財団法人ふくおか環境財団処務規程の一部改正」の件

議案第 3 号「定時評議員会の日時及び目的である事項等」の件

第 2 回 理事会（平成 31 年 3 月 20 日）

議案第 4 号「平成 31 年度事業計画案及び収支予算案」の件

議案第 5 号「公益財団法人ふくおか環境財団処務規程の一部改正」の件

議案第 6 号「公益目的事業の種類又は内容の変更及び変更の認定を受けるための行政庁への申請書の提出」の件

V 評議員会開催状況

平成30年度評議員会の開催状況は次のとおりである。ただし、第1回については、当財団定款第21条の規定に基づき、書面による決議とした。

第1回 評議員会（平成30年4月1日）

議案第1号「理事及び監事の辞任に伴う補欠選任」の件

第2回 評議員会（平成30年6月25日）

議案第2号「平成29年度事業報告及び決算」の件

議案第3号「公益財団法人ふくおか環境財団役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正」の件

VI 会計及び業務監査状況

監事による監査

平成30年度決算監査

実施年月日 令和元年5月14日・15日・16日

監事 石原 隆 ， 田川 修